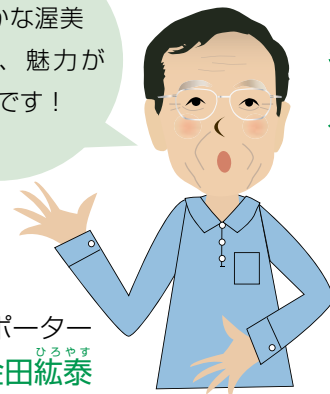


広報サポーターだより

田原の水辺散策

皆さんこんにちは。広報サポーターの金田です。私は地域自然環境保全委員として、県や市の担当者と協力し、河川の水質調査などを行っています。地域の自然環境について、気がかりなことも多いですが、感動的な場面にも出合うことが多くあります。今回は、私がオススメする楽しい水辺の風景をご紹介します。

自然豊かな渥美半島には、魅力がいっぱいです！



広報サポーター
 ひろやす
金田紘泰

●湿地の動植物

(黒河湿地と藤七原湿地)

黒河湿地植物群落(大久保町)と藤七原湿地植物群落(田原町)は、シデコブシの自生地として知られています。他にも、見事な花や生き物が見られます。中でも、黒河湿地のハッチョウトンボは、日本一小さなトンボで、赤色をしたオスは実に美しいです。このハッチョウトンボは、今年になって増えており、雑草の除去作業などの効果ではないかと思えます。また藤七原では、湿地の保全管理が進んだおかげでシデコブシが見事に咲き、里山には十数年ぶりにササユリもたくさん咲き誇りました。



▲ハッチョウトンボ(黒河湿地)



ササユリの花▶

●ハマボウ咲く河口

(新堀川・汐川河口)

7月下旬から8月初めにかけて、ハマボウが黄色の花を咲かせます。ハマボウは、亜熱帯性の樹木で、田原市のものが北限になるといわれ、新堀川(堀切町)のハマボウの野生地は県の天然記念物に指定されています。汐川河口にも群落があり、見事です。一日だけでしぼんでしまう可憐な花、ハマボウ。皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



ハマボウ群落(汐川河口)▶

◀ハマボウの花

